

連載特集「最終回」

岩崎久彌と末廣農場

VOL. 3

息を吹き返した旧岩崎家末廣別邸と

今後の末廣別邸の展望

10月1日号から連載特集で紹介している「岩崎久彌と末廣農場」の最終回。

今号では、三菱地所㈱から寄附された「旧岩崎家末廣別邸」が、多くの関係者によって整備された前後の様子を紹介します。

そして、これからの末廣別邸をどう活用していくのかを皆さんと考えていきたいと思っています。岩崎久彌と末廣別邸の歴史について、未来の富里市を築く小学生も授業で真剣に学び、末廣別邸の「おすすめポイント」を考えています。今回の特集が、市民の皆さんと行政でつくるまちづくりのきっかけとなれば幸いです。

☎ 生涯学習課文化資源活用室 (93) 7641

息を吹き返した

末廣別邸

旧岩崎家末廣別邸は、平成25年から敷地内の竹林伐採と建物清掃を開始し、現在まで多くの皆さんの協力により、整備が進められてきました。

整備は、別邸整備ボランティアの「末廣倶楽部」を中心に進められています。末廣倶楽部は、46人で構成され、毎週月・木曜日に週2回活動されています。

そのほかにもジョイントスクールの一環として、市内の小学6年生と中学1年生にも協力していただきました。岩崎久彌のこれまでの功績を受け継ぐ末廣別邸が、息を吹き返した様子を紹介します。

■主屋（南側）



▲平成 23 年 10 月 6 日撮影



▲平成 25 年 9 月 29 日撮影

■主屋（北側）



▲平成 24 年 2 月 8 日撮影



▲平成 27 年 10 月 8 日撮影

■東屋（南側）



▲平成 23 年 10 月 6 日撮影



▲平成 27 年 7 月 14 日撮影

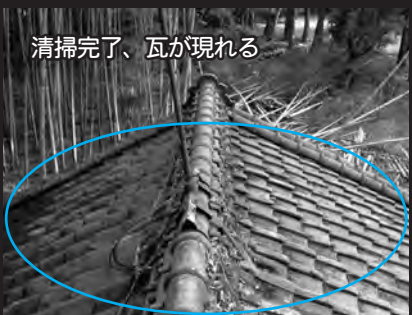
■石蔵（屋根部分）



▲平成 24 年 12 月 26 日撮影



▲平成 24 年 12 月 26 日撮影



▲平成 24 年 12 月 26 日撮影

■石蔵（正面）



▲平成 24 年 9 月 5 日撮影



▲平成 27 年 10 月 8 日撮影

■千葉県緊急雇用対策事業による竹林伐採



▲竹林伐採前



▲竹林伐採後

末廣別邸のこれから

3つの価値

旧岩崎家末廣別邸には、次の3つの価値があります。

■建築的価値

昭和初期に建築された近代和風住宅で、厳選された素材を用いた洗練された空間があります。



■庭園的価値

里山的景観を呈した近代日本庭園が広がります。



■歴史的価値

先進農場の歴史があります。



この3つの価値は、私人としての久彌の想いと人生観の現れです。これからの末廣別邸の活用の根幹を成すのは、久彌の想いです。

久彌の想いを

伝える場所へ

久彌の生涯は、社会的責務とは何かを考え、富める者はどう行動すべきかを模索して来たものでした。

今後の活用は、単なる観光名所とするのではなく、建物の佇まいや庭園に私人としての久彌の姿と思想が思い浮かぶ場所にするのが重要であると考えます。

三菱ゆかりの

名所・史跡・文化施設

岩崎家に関連する三菱ゆかりの施設がこれだけ残っていることは、歴史上、ほとんどありません。

市では、岩手県雫石町、高知県安芸市、そのほかの関連施設と連携を図っています。今後、さらにつながりを深め、「人」と「物」の移動と連携を創出していきます。

